

平成30年度  
全国学力・学習状況調査の結果の概要

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の概要について

### 1 実施概要

(1) 実施日 平成30年4月17日(火)

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年  
 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 実施教科

①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

・主として「知識」に関する問題(A)※1

・主として「活用」に関する問題(B)※2

※理科は「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問うものとして構成し出題。

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

・学校に対する調査(Webによる回答)

(4) 実施校数 悉皆調査

	学校数	調査対象 学校数	調査実施校	
			17日に調査を 実施した学校数	18日以降に調査を 実施した学校数
市町立小学校	221	219	219	0
義務教育学校(前期課程)	1	1	1	0
特別支援学校(小学部)	12	3	3	0
市町立中学校	96	95	95	0
義務教育学校(後期課程)	1	1	1	0
県立中学校	3	3	3	0
特別支援学校(中学部)	12	4	3	0
公立学校計	346	326	325	

### 2 教科に関する調査の実施結果(公立)

○各教科における本県と全国の平均正答率(%)

		小学校					中学校				
		国語A (12問)	国語B (8問)	算数A (14問)	算数B (10問)	理科 (16問)	国語A (32問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (14問)	理科 (27問)
平成 30 年度	本県	68%	53%	60%	49%	58%	75%	58%	65%	45%	64%
	全国	70.7%	54.7%	63.5%	51.5%	60.3%	76.1%	61.2%	66.1%	46.9%	66.1%
平成 29 年度	本県	73%	56%	76%	43%	58.0% (H27)	76%	69%	63%	47%	50.3% (H27)
	全国	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%	60.8% (H27)	77.4%	72.2%	64.6%	48.1%	53.0% (H27)

※平成29年度から文部科学省は、各都道府県の平均正答率を整数で示すことに変更。

※1

A: 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題  
 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などが問われる。

※2

B: 知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題  
 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容が問われる。

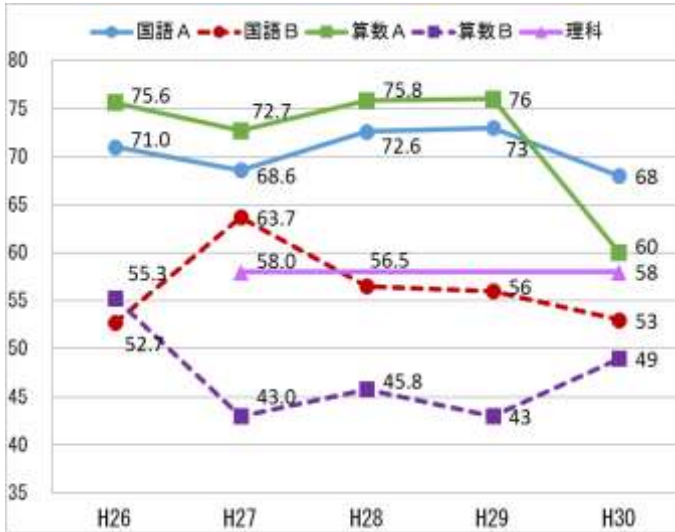
平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

1 教科に関する調査

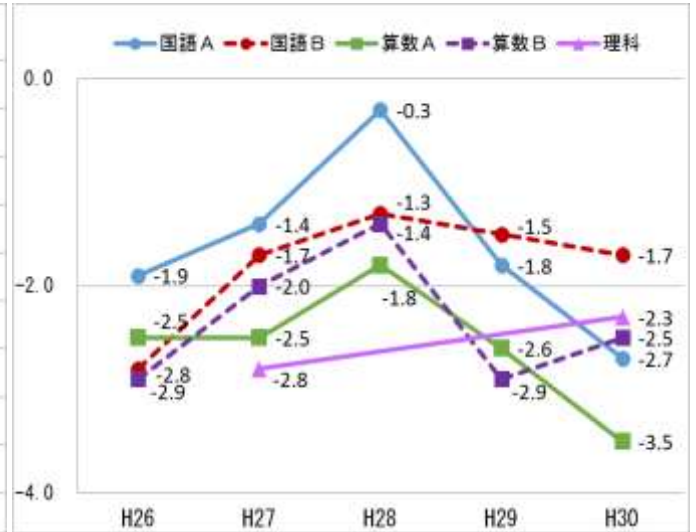
(1) 平均正答率の状況

【小学校】

＜県平均正答率の経年変化＞

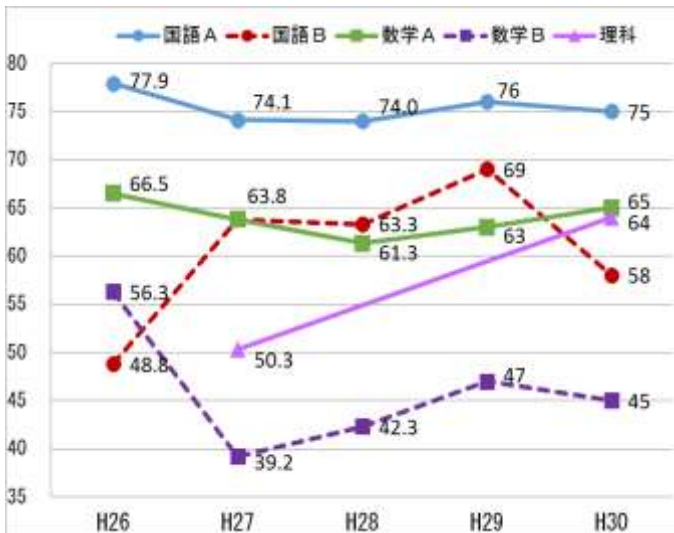


＜県平均正答率の全国との差＞

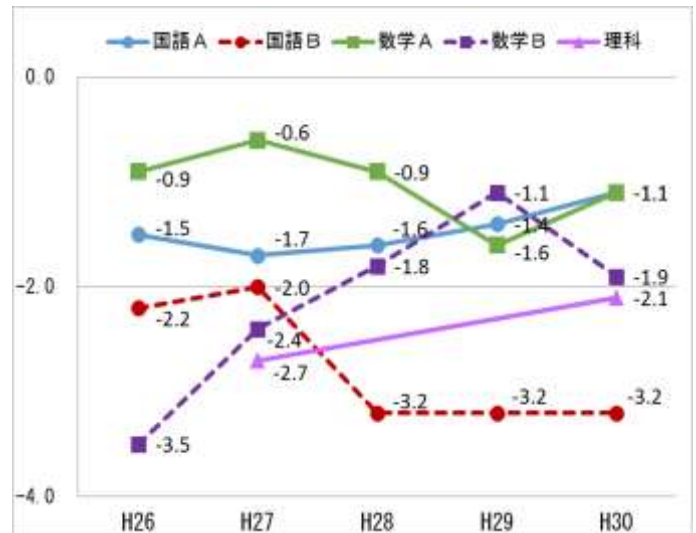


【中学校】

＜県平均正答率の経年変化＞



＜県平均正答率の全国との差＞



[県平均正答率の全国との差のグラフの見方]

- ・縦軸0を全国の平均正答率として、平成26年度から今年度までの各教科に関する調査結果の本県の平均正答率の差を折れ線で示している。
- ・平成29年度から、各都道府県の平均正答率は整数で示しており、全国の平均正答率との差も、その数値により示している。

【小学校】

<p>国語</p>	<p>○国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均を2.8ポイント下回った。          ・主語と述語に注意して文を書いたり、習った漢字を適切に使ったりすることに課題がある。</p> <p>○国語Bでは「読むこと」で、全国平均を1.5ポイント下回った。          ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて読み取ることに課題がある。さらに読み取ったことをもとにして「書くこと」にも課題がある。</p>
<p>算数</p>	<p>○算数Aでは、計算や式、円周率の意味を問う問題での落ち込みが大きく、基礎的・基本的な知識・技能の定着に大きな課題がある。</p> <p>○算数ABとも「図形」領域で、全国平均をそれぞれ4.5ポイント(A)、3.1ポイント(B)下回った。          ・基本的な図形の性質や意味の理解に課題がある。</p> <p>○また、算数ABとも「数と計算」領域でも、全国平均をそれぞれ3.1ポイント(A)、2.5ポイント(B)下回った。          ・式や計算の意味を確実に理解し、数学的に表現することに課題がある。</p>
<p>理科</p>	<p>○県平均正答率の全国との差は0.5ポイント改善されたものの、すべての領域で全国平均を下回っている。</p> <p>○「物質」の領域は、全国平均を3.6ポイント下回った。中でも、ろ過の適切な操作方法を指摘する問題では、全国平均を5.1ポイント下回った。</p> <p>○「地球」の領域は、全国平均を下回っているものの、1.3ポイント改善された。</p> <p>○どの領域においても、基礎的・基本的な知識・技能の定着や、考察や結論を記述することに課題がある。</p>

【中学校】

<p>国語</p>	<p>○国語Aでは「話すこと・聞くこと」で、全国平均を3.3ポイント下回った。          ・話合いの話題や方向性を捉えて、的確に話すことに課題がある。</p> <p>○国語Bでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国平均を5.7ポイント下回った。          ・古典の説話を読み、相手に的確に伝わるようにあらすじを捉えて書くという総合的な問題を解くことに課題がある。</p> <p>○国語ABともに、話の展開を正しく捉え、必要な情報を取り出して整理し、それを文章にすることに課題がある。</p>
<p>数学</p>	<p>○数学ABとも「資料の活用」領域で、全国平均をそれぞれ3.1ポイント(A)、2.4ポイント(B)下回った。          ・「資料の活用」領域においては、平均値や最頻値、確率などの基本的な用語の意味を理解することや資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>○数学Aでは、「数と式」領域で全国を0.1ポイント上回り、「図形」領域でも、全国平均をやや下回っているものの、0.5ポイント改善された。</p> <p>○どの領域においても、基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題がある。また、問題を正しく解釈して、その問題を解決させるための方法を数学的に説明することに課題がある。</p>
<p>理科</p>	<p>○県平均正答率の全国との差は0.6ポイント改善されたものの、すべての領域で全国平均を下回っている。</p> <p>○「物理的領域」においては、全国平均を3.0ポイント下回った。実験の結果を示した表から電流の値を読み取る問題で全国平均を4.8ポイント下回り、オームの法則を使って抵抗値を求める問題で全国平均を4.9ポイント下回っている。</p> <p>○「地学的領域」においては、全国平均をやや下回っているものの、1.9ポイント改善された。</p> <p>○どの領域においても、基礎的・基本的な知識・技能の定着に課題がある。</p>

## 2 児童生徒に対する質問紙調査の結果の概要

質問項目数は、昨年度より、小・中学校ともに大幅に減少し、小学校62項目（昨年度92項目）、中学校59項目（昨年度94項目）となった。その中から、児童生徒の学力と相関関係が見られる質問項目を取り上げた。

### ○ 授業改善に関する質問項目（主体的・対話的で深い学びの実現に向けて）

「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合（％）は、小・中学校ともに、昨年度と比べ減少している。

質問項目	5年生までに(1, 2年生のときに)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか (H29: 5年生までに(1, 2年生のときに)受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか) 質問番号 小:55、中:52						
	選択肢	当てはまる/ どちらかといえば、当てはまる		どちらかといえば、当てはまらない/ 当てはまらない		その他・無回答	
	校種	小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	74.0	70.5	25.8	29.3	0.2	0.2
	全国	76.7	73.8	23.2	26.1	0.2	0.1
H29	滋賀県	76.5	71.3	23.4	28.4	0.2	0.3
	全国	77.9	74.9	22.1	25.0	0.1	0.1

〔「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)〕

小学校：昨年度と比べ2.5ポイント減、全国と比べ2.7ポイント下回る（差が広がっている）

中学校：昨年度と比べ0.8ポイント減、全国と比べ3.3ポイント下回る（差が縮まっている）

### ○ 学習に対する関心・意欲・態度等に関する質問項目

「算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」について肯定的に回答した児童生徒の割合（％）は、小・中学校ともに、昨年度と比べ増加している。

質問項目	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか 質問番号 小:33、中:33						
	選択肢	当てはまる/ どちらかといえば、当てはまる		どちらかといえば、当てはまらない/ 当てはまらない		その他・無回答	
	校種	小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	90.0 ↑	71.2 ↑	9.9	28.6	0.1	0.1
	全国	90.3	72.9	9.6	27.0	0.1	0.1
H29	滋賀県	88.6	68.8	11.1	30.6	0.3	0.5
	全国	89.1	72.4	10.7	27.3	0.4	0.3

〔「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)〕

小学校：昨年度と比べ1.4ポイント増、全国と比べ0.3ポイント下回る（差が縮まっている）

中学校：昨年度と比べ2.4ポイント増、全国と比べ1.7ポイント下回る（差が縮まっている）

○ 自尊感情に関する質問項目

「自分には、よいところがあると思いますか」について肯定的に回答した児童生徒の割合（％）は、小・中学校ともに、昨年度と比べ増加している。

質問項目	自分には、よいところがあると思いますか						
	質問番号 小:1、中:1						
選択肢		当てはまる／ どちらかといえば、当てはまる		どちらかといえば、当てはまらない／ 当てはまらない		その他・無回答	
校種		小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	85.2 ↑	75.8 ↑	14.7	24.1	0.1	0.1
	全国	84.0	78.8	15.9	21.2	0.1	0.0
H29	滋賀県	78.7	68.8	21.1	30.9	0.2	0.2
	全国	77.9	70.7	21.9	29.1	0.0	0.2

〔「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合（％）〕

小学校：昨年度と比べ 6.5 ポイント増、全国と比べ 1.2 ポイント上回る

中学校：昨年度と比べ 7.0 ポイント増、全国と比べ 3.0 ポイント下回る（差が広がっている）

○ 学習習慣に関する質問項目

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問項目に、「2時間以上」と回答した児童生徒の割合（％）は、小・中学校ともに、昨年度と比べ増加している。

質問項目	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)								
	質問番号 小:14、中:14								
選択肢		2時間以上		30分以上 2時間より少ない		30分より少ない 全くしない		その他・無回答	
校種		小	中	小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	26.4 ↑	33.6 ↑	63.3	51.7	10.1	14.6	0.3	0.2
	全国	29.3	36.4	60.7	50.8	9.9	12.8	0.1	0.0
H29	滋賀県	23.8	31.7	64.8	51.5	11.3	16.6	0.1	0.2
	全国	27.1	35.4	61.6	51.4	11.3	13.2	0.1	0.1

〔2時間以上、学習していると回答した児童生徒の割合（％）〕

小学校：昨年度と比べ 2.6 ポイント増、全国と比べ 2.9 ポイント下回る（差が縮まっている）

中学校：昨年度と比べ 1.9 ポイント増、全国と比べ 2.8 ポイント下回る（差が縮まっている）

### 3 学校に対する質問紙調査の結果の概要

質問項目数は、昨年度より、小・中学校ともに大幅に減少し、小学校84項目（昨年度111項目）、中学校81項目（昨年度109項目）となった。その中から、児童生徒の学力と相関関係が見られる質問項目を取り上げた。

#### ○ 指導方法に関する質問項目

「習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」について肯定的に回答した学校の割合（％）は、昨年度に比べ、小学校では増加し、中学校では変化がなかった。

質問項目	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか						
	質問番号 小:22、中:21						
選択肢		よく行った／ どちらかといえば、行った		あまり行っていない／ 全く行っていない		その他・無回答	
校種		小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	88.3 ↑	86.3	11.7	13.7	0.0	0.0
	全国	93.0	92.6	6.9	7.2	0.1	0.1
H29	滋賀県	87.0	86.3	13.0	13.7	0.0	0.0
	全国	91.5	89.6	8.3	10.4	0.1	0.0

【「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)】

小学校：昨年度と比べ1.3ポイント増、全国と比べ4.7ポイント下回る（差が広がっている）

中学校：昨年度と比べ変化なし、全国と比べ6.3ポイント下回る（差が広がっている）

#### ○ 学校経営に関する質問項目（カリキュラム・マネジメントに関わって）

「児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」について肯定的に回答した学校の割合（％）は、小・中学校ともに、昨年度と比べ増加している。

質問項目	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか						
	質問番号 小:18、中:17						
選択肢		よくしている／ どちらかといえば、している		あまりしていない／ 全くしていない		その他・無回答	
校種		小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	90.1 ↑	88.2 ↑	9.9	11.8	0.0	0.0
	全国	94.9	93.1	5.1	7.0	0.0	0.0
H29	滋賀県	81.6	79.4	18.4	20.6	0.0	0.0
	全国	91.5	87.8	8.5	12.2	0.0	0.0

【「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合(%)】

小学校：昨年度と比べ8.5ポイント増、全国と比べ4.8ポイント下回る（差が縮まっている）

中学校：昨年度と比べ8.8ポイント増、全国と比べ4.9ポイント下回る（差が縮まっている）



○ 家庭学習に関する質問項目

「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか」について肯定的に回答した学校の割合(%)は、小・中学校ともに、昨年度と比べ増加している。

質問項目	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数 数学 共通)						
	選択肢	よく行った/ どちらかといえば、行った		あまり行っていない/ 全く行っていない		その他・無回答	
	校種	小	中	小	中	小	中
H30	滋賀県	82.5 ↑	68.6 ↑	17.5	31.4	0.0	0.0
	全国	84.4	73.7	15.5	26.2	0.1	0.1
H29	滋賀県	77.6	65.7	22.4	34.3	0.0	0.0
	全国	83.1	69.8	16.8	30.1	0.1	0.0

〔「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)〕

小学校：昨年度と比べ4.9ポイント増、全国と比べ1.9ポイント下回る（差が縮まっている）

中学校：昨年度と比べ2.9ポイント増、全国と比べ5.1ポイント下回る（差が広がっている）